

COP26グラスゴー気候合意 [1.5度目標] を受けて—

# 脱炭素社会の構築と自治体の脱炭素政策

～都市システムの脱炭素化、地域脱炭素ロードマップ、自治体の挑戦、気候市民会議の実践～

- IPCC報告書と日本の都市システムの脱炭素化
- 自治体の脱炭素転換と地域発展の政策化
- 川崎市脱炭素計画一条例改正と先行地域の展開
- 温暖化対策推進法改正と地域脱炭素ロードマップ
- 排出量等データ可視化プラットフォームのシステム
- 「脱炭素かわさき市民会議」の実践から提案、展開へ

2022年7月1日(金) 10:00～17:40

剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

【講師陣】 山形 与志樹 氏 / 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授  
IPCC第6次評価報告書代表執筆者 [オンライン講演]

澁谷 潤 氏 / 環境省大臣官房環境計画課課長補佐

歌川 学 氏 / 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員

小針 喜幸 氏 / (株)NTTデータコーポレート統括本部  
グリーンイノベーション推進室課長

井田 淳 氏 / 川崎市環境局脱炭素戦略推進室長

村上 千里 氏 / (一社)環境政策対話研究所理事

## 《新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について》

感染予防対策として会場の座席は間隔を十分にあげます。開始前に机・椅子を消毒する、換気する、アルコールで手指消毒をする等で安全・安心を徹底しますので、マスクの着用をお願いします。

■ 会場：剛堂会館・会議室

東京都千代田区紀尾井町3-27  
(案内図は申込後送付)

■ 参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	27,000円	28,000円
一般	37,000円	38,000円

※メディアCDには、山形与志樹氏(慶應大学)のご講演は収録されません。

①メディア参加申込みの方は、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)及び資料と請求書をお送りいたします。②参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い  
みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767  
郵便振替:00110-8-81660 口座名:株地域科学研究会

下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい

■ 申込方法 (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える

地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズマンション平河町101  
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0093  
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■ 研修会 『脱炭素社会の構築と自治体の脱炭素政策』

当日参加  メディア参加

勤務先

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉 ○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名:

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
10:00 }	1.1.5度目標と地球・地域の脱炭素化 ～最新のIPCC報告書が提示した都市システムの脱炭素化の可能性～ 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 IPCC第6次評価報告書代表執筆者 <b>山形 与志樹氏</b>
11:00	1. IPCCと気候変動枠組み条約との関係 2. 最新のIPCC「気候変動の緩和」報告書の主な内容 3. 日本の都市における脱炭素化の取組み 4. 都市システムデザインによる脱炭素化のアプローチ [オンライン講演] 5. ゼロカーボンでウェルビーングな地方創生の実現に向けて 《質疑応答》
11:10 }	2.地域脱炭素の取組みについて 環境省大臣官房環境計画課課長補佐 <b>澁谷 潤氏</b>
12:10	1. 2050年カーボンニュートラルに向けた動き 2. 改正地球温暖化対策推進法（令和3年6月公布）について 3. 地域脱炭素ロードマップのポイント 4. 地域脱炭素を支える仕組み 《質疑応答》
13:10 }	3.自治体の脱炭素転換、対策ロードマップと政策 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員 <b>歌川 学氏</b>
14:10	1. 自治体エリアのエネルギー消費・CO2排出実態の把握、特徴把握 2. 地域の効果的な脱炭素対策ロードマップと、2050年エネルギー消費・排出予測試算 3. 地域からの光熱費流出削減、脱炭素対策の地域発展への寄与 4. 地域の脱炭素転換と地域発展のための政策 《質疑応答》
14:20 }	4.カーボンニュートラルに向けた弊社取組みと排出量等のデータの可視化プラットフォーム (株)NTTデータコーポレート統括本部グリーンイノベーション推進室課長 <b>小針 喜幸氏</b>
15:20	1. 企業を取り巻く環境変化と弊社の対応 2. 社会全体の排出量削減に向けた取組み 3. 弊社提供の可視化プラットフォーム 《質疑応答》
15:30 }	5.川崎市地球温暖化対策推進計画の改定 ～脱炭素社会の実現に向けた産業都市、川崎の挑戦～ 川崎市環境局脱炭素戦略推進室長 <b>井田 淳氏</b>
16:30	1. 川崎市地球温暖化対策推進計画の改定 (1) 川崎市の地球温暖化対策を取り巻く状況等 (2) 2050年の将来ビジョン (3) 2030年度の達成目標 (4) 基本理念・基本的方向 (5) 施策（5大プロジェクト等） 2. 今後の展望 (1) 川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例の改正に向けた検討 (2) 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想 (3) 脱炭素先行地域の展開 《質疑応答》
16:40 }	6.気候市民会議—無作為抽出の市民が描く脱炭素政策 —「脱炭素かわさき市民会議」のチャレンジからの発信 (一社)環境政策対話研究所 理事 <b>村上 千里氏</b>
17:40	1. 欧州発「気候市民会議」の広がり 2. 「脱炭素かわさき市民会議」の実施概要 3. 「脱炭素かわさき市民会議」からの提案 4. その後の動き、各地への展開に向けて 《質疑応答》